

2015年9月9日

株式会社オールアバウト
株式会社ドクターシーラボ

「美白ケアに関する調査」

**美白をしている女子の3人に1人が秋は美白意識が低下、夏の肌ダメージを放置？
美白が失敗に終わる「しくじり美白」予備軍の可能性あり！**

美白を頑張ってきた40代・50代女性の約半数が現在の肌に失望…主な悩みは「シミ」

総合情報サイト「All About」を運営する株式会社オールアバウト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：江幡 哲也）と、株式会社ドクターシーラボ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石原 智美）は、1都3県在住の20～30代の独身女性1,267人、40～50代の女性1,100人を対象に「美白」に関する調査を実施しました。

本調査の結果、20代～30代の約4割が夏の美白ケアを意識高く行っているにも関わらず、そのうち約3割は9月以降に美白への意識が低下していることが分かりました。また、20代の頃から美白ケアを意識高く行ってきた40代・50代女性の約半数は、現在の自身の肌に対し「想像していたより悪い」と回答し、その主な悩みは光老化^{※1}が原因の一つである「シミ」「シワ」が最も多く、今までの美白ケアの成果が得られていない『しくじり美白』である可能性が明らかになりました。

これに対し、オールアバウト「スキンケア」ガイドの夏目円氏は、『秋の肌は夏に受けたダメージが肌奥で蓄積されています。夏だけの美白で終わり秋の美白ケアを怠ると、年齢を重ねたときに蓄積されたダメージが表面化し「シミ」「シワ」などの光老化に悩むなど、いままでの美白が失敗に終わる「しくじり美白」になる可能性があります』と指摘しました。

※1：紫外線による肌の老化

調査結果のポイント

- UV・美白ケアに最も注力するのは7月～8月。9月以降はUV・美白ケアの意識が低下
20～30代の美白ケアをしている女性の3人に1人は
夏のダメージをリセットできず、美白ケアが失敗する「しくじり美白」予備軍の可能性
- 美白ケアを行うきっかけは「シミ・シワを見つけた」「年齢的に必要」「日焼けした」
実際にダメージを感じてから美白ケアを行う女性が多数
パックや角質ケアなど特別ケアは夏でも約2割と少数
- 20代に美白意識が高かった40～50代の2人に1人が自分の肌に失望
「今の肌は想像していたより悪い」と回答
主な悩みは光老化が原因の一つである「シミ」「シワ」「たるみ」
- 40代・50代のキレイの基準は「肌の透明感」
シミ・そばかすが無い、ハリと弾力がある白肌を支持

■ 調査概要:

・ 調査期間: 2015年8月14日(金)～8月17日(月)

・ 有効回答数 : 20～30代 1,267人 / 40～50代 1,100人

・ 調査地域 : 東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県

・ 調査方法 : インターネットリサーチ

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：株式会社オールアバウト 広報担当：大貫
TEL：03-6362-1359 FAX：03-6682-4229 E-mail：pr@staff.allabout.co.jp

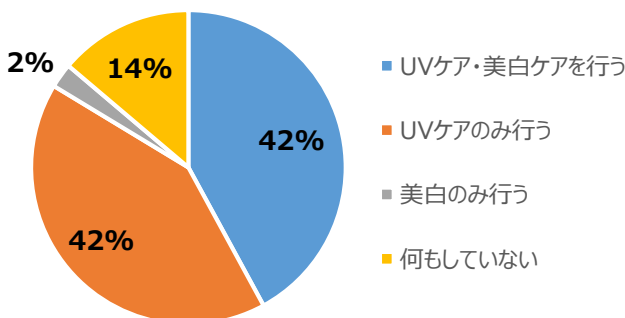
**UV・美白ケアに最も注力するのは7月～8月。9月以降はUV・美白ケアの意識が低下
20～30代の美白ケアをしている女性の3人に1人は
夏のダメージをリセットできず、美白ケアが失敗する「しくじり美白」予備軍の可能性**

20代～30代の女性に対し、年間の紫外線対策と美白ケアについて聞いたところ、約8割が「UVケアを行う」(UVケア・美白ケアを行う:42%、UVケアのみ行う:42%)と回答したのに対し、「美白ケアを行う」と回答した人は約4割(UVケア・美白ケアを行う:42%、美白のみ行う:2%)と半数以下にとどまりました。

UVケアと美白ケアの両方を行うと回答した人の割合も約4割で、「美白ケアを行う」と回答した人のほとんどがUVケアも行っていることがわかりました。また「UVケアのみ行う」と回答した割合も約4割となり、「UVケア・美白ケアを行う」と回答した割合とほぼ同数となりました。(グラフ1)

【グラフ1】

UVケア・美白ケアの実施有無 (n=1267)

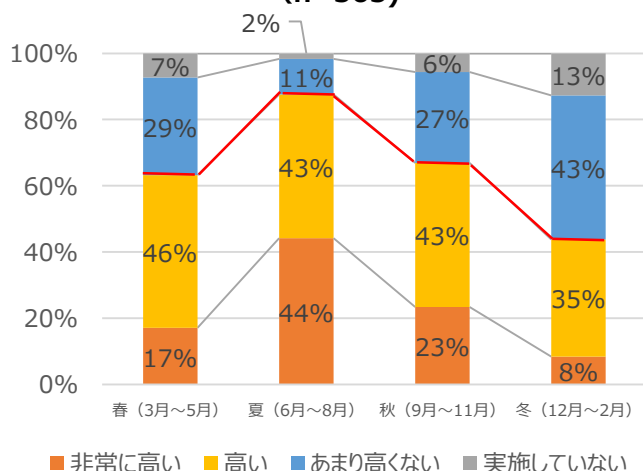


次に美白ケアをしていると回答した人に対し、季節別の美白に対する意識の変化を聞くと、夏(6月～8月)は約9割が「意識が高い」と回答しているのに対し(「非常に高い」と「高い」の合算値)、その割合は秋(9月～11月)に約6割と約20ポイント低下していることがわかりました。(グラフ2)

9月以降に美白への意識が低下する理由を聞くと、「日差しが弱いから」「保湿のほうが重要だと思うから」「紫外線の量が少ないから」「乾燥が気になるから」などの理由が上位を占めました。秋はUVケアの必要性が低下し、乾燥対策として保湿ケアの優先度があがるため、美白ケアに対する意識が低下していると考えられます。(グラフ3)

【グラフ2】美白ケアにおける意識レベルの変化

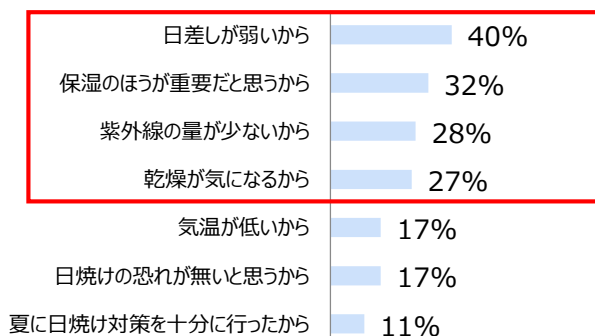
(n=565)



【グラフ3】秋(9月～11月)に

美白を重要視しない理由

(n=297) (複数回答)

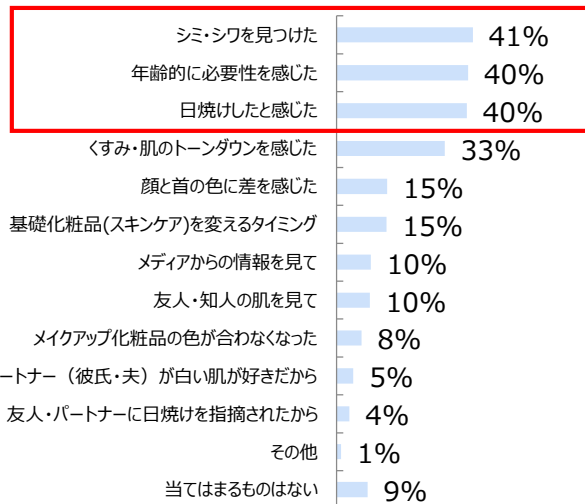


**美白ケアを行うきっかけは「シミ・シワを見つけた」「年齢的に必要」「日焼けした」
実際にダメージを感じてから美白ケアを行う女性が多数
パックや角質ケアなど特別ケアは夏でも約2割と少数**

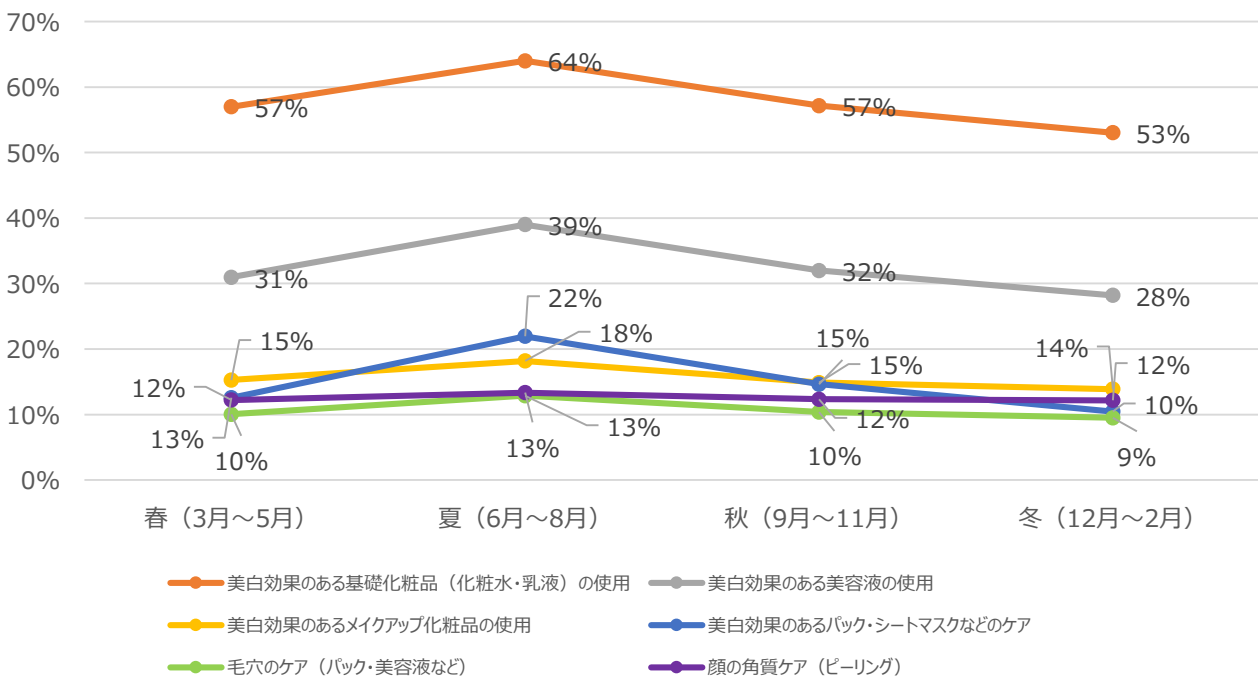
美白ケアを行っているという回答した女性に対しそのきっかけについて問うと、「シミ・シワを見つけた」「年齢的に必要性を感じた」「日焼けしたと感じた」がほぼ同数で最も多く、実際に肌にダメージを感じてから美白ケアを行う人が多いことがわかりました。(グラフ4)

実際に美白ケアで実施していることを季節別にみると、年間を通して「美白効果のある基礎化粧品」の利用率が50%以上と高く、また、「美白美容液」の利用率も年間を通して約3割を保っていることから、日々の美白ケアは基礎化粧品で行う人が多いことがわかりました。一方で「美白効果のあるパック・シートマスク」「角質ケア」「毛穴のケア」などの特別ケアは、夏季(6月～8月)でも約2割にとどまり、年間を通して実施している人は約1割と少数であることがわかりました。(グラフ5)

**【グラフ4】
美白ケアを行うきっかけ (n=565) (複数回答)**



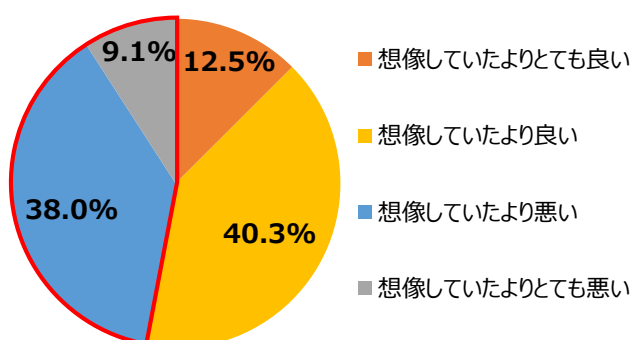
【グラフ5】 実施している美白ケア (n=565) (複数回答)



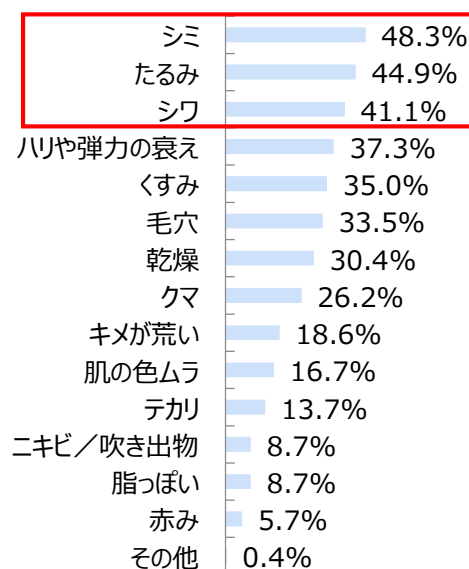
**20代に美白意識が高かった40～50代の2人に1人が自分の肌に失望
「今の肌は想像していたより悪い」と回答
主な悩みは光老化が原因の一つである「シミ」「シワ」「たるみ」**

次に、20代の頃に美白への意識が高かったと回答した40代・50代女性に対し、現在の肌の状態を聞くと、約半数が「想像していたより悪い」（想像していたより悪い:38%、想像していたよりとても悪い:9.1%）と回答し(グラフ6)、その主な悩みとして光老化が原因のひとつである「シミ」「たるみ」「シワ」が上位を占めました(グラフ7)。

【グラフ6】 現状の肌への満足度 (n=263)



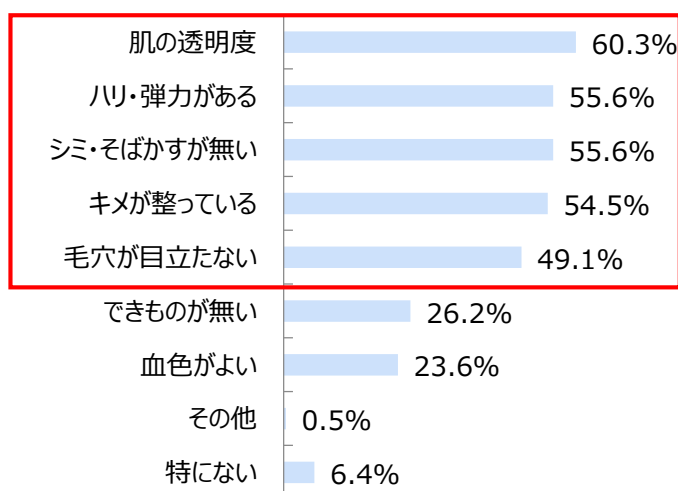
【グラフ7】 現在の肌悩み (n=263) (複数回答)



**40代・50代のキレイの基準は「肌の透明度」
シミ・そばかすが無い、ハリと弾力がある白肌を支持**

さらに、40代・50代の女性に対し、同年代で肌がキレイだと思う女性の特徴を聞くと「肌の透明度」「ハリ・弾力がある」「シミ・そばかすが無い」が最も多く、白肌の支持率が高いことが伺えます。(グラフ8)

【グラフ8】
キレイだと思う女性の基準 (n=1065) (複数回答)



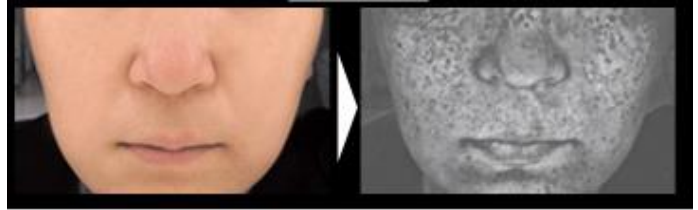


■ All About 「スキンケア」ガイド 夏目円 氏のコメント

✦ 秋の肌には無数の「潜在シミ」が発生 20代以降の女性は、自力でメラニンの排出が難しい

秋に女性の肌を専門の機械で見ると、夏に浴びた紫外線によって作り続けられ、蓄積したメラニンにより、シミやシワなどの予備軍である「潜在シミ」が発生し、無数に点在しているのがわかります。この「潜在シミ」の原因であるメラニンを排出するには、肌の水分量とターンオーバー※2が関係しますが、残念ながら秋口の肌は紫外線や空調などのダメージによりターンオーバーが乱れ、乾燥しています。

また、20代以降の肌は加齢により新陳代謝が鈍るだけでなく、肌の水分量は年齢と共に低下し、ターンオーバーの乱れも30代以降に目立つようになります。したがって、20代以降の女性は自分



【左：通常写真/右：皮膚計測機器で撮影】

の力でメラニンを排出することが難しく、この状態を放置するとシミの原因になります。さらには、肌に余分な角質がたまる「角質肥厚」や、「キメの乱れ」などがおこり、顔全体のくすみ、毛穴やたるみなど深刻な肌老化につながります。

※2:肌の新陳代謝、肌の生まれ変わり

このように、紫外線が弱い冬を過ごした春の肌と、紫外線が強い夏を過ごした秋の肌では状態が大きく異なります。調査をみると、春（3月～5月）と秋（9月～11月）の意識レベルはほぼ同じという結果がでていますが、美白を成功させるには、紫外線が強い時期に肌を守りケアするだけでなく、受けたダメージをしっかりリセットすることが大事なので、秋こそ意識高く美白ケアを行う必要があります。

✦ 「しくじり美白」にならないためには、『秋の美白ケア』が必要不可欠

20代に美白への意識が高かった40代・50代の先輩女性でも、現在の自身の肌への満足度が低く、またその悩みの多くは光老化が一因であることから、十分に美白の成果が得られていない「しくじり美白」になってしまっていることがわかります。

しっかりUVケアをしたつもりでもダメージを受けてしまうのが夏の紫外線です。調査をみると、20代～30代の女性の約4割がUV対策のみ行くと回答し、美白ケアは「シミ」「シワ」を見つけてから始める人が多いことがわかります。また、20代～30代の夏の美白を頑張っている人でも3人に1人が秋に意識が低下しており、夏のダメージに気づかず放置している人が多いと考えられます。このように正しく美白ケアができていない人は、年齢を重ねたときに美白の成果が出ない「しくじり美白」の予備軍である可能性があります。

✦ 正しい美白の3か条は「角質ケア」「保湿ケア」「ビタミンC」

メラニンの沈着を防ぐビタミンCが美白に有力であることは広く知られていますが、ターンオーバーを整える「保湿」と、肌の吸収力を高める「角質ケア」も同じように重要になります。今回の調査では、角質ケアを行う人が夏でも2割程度と少ないですが、どんなに優秀な美容成分でも、肌の奥まで届かなければ効果は期待できません。ターンオーバーで乱れて残ってしまった古い角質や汚れをピーリングで一掃し、肌の吸収力をたかめる角質ケアを行きましょう。

【夏目円氏 プロフィール】（ガイドプロフィール：<http://allabout.co.jp/gm/gp/907/>）

美容ライター/美容ジャーナリスト

20代から40代にわたる幅広い女性誌のビューティページを執筆。美容ライターとして14年のキャリアを生かし、メイクからスキンケア、ヘルスなど幅広いジャンルを担当する。

■All About「メイク」ガイド 新見千晶 氏のコメント



話題の「おフェロメイク」・秋のトレンドメイク いずれも肌本来の白さや透明感を活かした「すっぴんメイク」がポイント

近年、肌本来の透明感や白さを生かすメイクがトレンドです。
例えば、若い女性に注目されている“おしゃれ×フェロモン”の造語である「おフェロメイク」は、透明感のあるベースメイクに、赤やオレンジのチークやリップで、血色が透けて見えている様な上気した肌を演出するメイクです。

また、この秋はボルドー、ネイビー、カーキなど深みのあるシックなカラーのアイシャドウに、濃いベリー系リップを合わせるのがトレンド。

いずれのメイクも、可愛く仕上げるためには、ベースメイクをナチュラルに作り、素肌っぽさを生かす事がポイントです。ベースメイクで抜け感を出してこそ、濃いカラーも厚塗り感なく、今っぽい表情に仕上がるのです。

しかし、秋は夏に浴びた紫外線やエアコンの影響で、乾燥や肌疲れ、くすみを感じてしまいがち。**肌の不調を気にして、いつもよりファンデーションで濃くカバーしてしまっている方も多い気がします。**せっかくトレンドを意識したメイクやファッションを取り入れても、秋のシックな色合いと相まってさらに顔がくすんで見えてしまう…！なんてことも。

夏だけでなく、秋も美白もしっかり行い、秋のおしゃれをもっと楽しみましょう！

【新見千晶氏 プロフィール】（ガイドプロフィール：<http://allabout.co.jp/gm/gp/122/>）

美容誌・雑誌・広告などで、モデル・女優・タレントを担当するヘア&メイクアップアーティスト。

美容雑誌、WEB マガジンではメイク解説や撮影で培ったプロの美ワザなどコラムも多数執筆。

（著者書籍）朝5分ヒミツの美ワザ55（主婦の友社）、一重奥二重さんの魔法のメイク BOOK(サンクチュアリ出版)、いつものメイクにトッピング！瞬間・変身メイク BOOK(世界文化社)

■オールアバウトについて URL：<http://corp.allabout.co.jp/>

株式会社オールアバウトが運営する All About は、約1,300のテーマごとに、専門の知識や経験を持った人＝「ガイド」が、その分野に関する情報を提供する総合情報サイトです。2001年2月15日のサイトオープン以来、順調にユーザ数を伸ばし、月間総利用者数は約3,360万人（2015年1月実績、スマートフォン、モバイル含む）となっています。

■株式会社ドクターシーラボについて URL：<http://www.ci-labo.com/>

メディカルコスメ ドクターシーラボは、「肌トラブルに悩むすべての人々を救う」を企業理念として1999年に設立された会社です。皮膚の専門家の視点で企画開発されたスキンケア化粧品を中心に、美容と健康をサポートする価値ある商品の提供により、社会貢献を目指しています。

□「美白:Labo」(ビハクラボ) URL：<http://www.ci-labo.com/bihaku-labo/>

「美白:Labo」(ビハクラボ)は、ドクターシーラボ公式HPで開設している特設サイトです。美白ケアに関するさまざまな情報を紹介しております。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：

株式会社オールアバウト 広報担当：大貫

TEL：03-6362-1359 FAX：03-6682-4229 E-mail：pr@staff.allabout.co.jp